

科目名	幼児と音楽表現			担当教員	木許 隆、木許 隆	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	
期待される学修成果						
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	保育者に必要な「自然な歌声」を習得する。また、歌唱力と表現力を豊かにし、子どもの歌いたいと思う気持ちを引きき出すことを目指す。					
授業の概要	子どもと保育者が展開する「うたう活動」を想定し、自身が正しい音程でうたうことを目指す。また、子どもの歌をうたい、歌唱力や表現力を磨く。【デジタル技術利用：該当なし】					

授業計画	
第1回	ソルフェージュと音楽教育について学ぶ。また、保育現場で用いられる生活の歌①登園時、昼食時をうたう。
第2回	声と言葉について学ぶ。また、保育現場で用いられる生活の歌②おやつ時、降園時をうたう。
第3回	しなやかな身体をつくる実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌①春（音程間隔が狭い教材）をうたう。
第4回	うたう身体をつくる実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌②春（音程間隔が広い教材）をうたう。
第5回	身体で表現する実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌③夏（音程間隔が狭い教材）をうたう。
第6回	響きをつくる実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌④夏（音程間隔が広い教材）をうたう。
第7回	楽譜を読みリズムを刻む実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌⑤秋（音程間隔が狭い教材）をうたう。
第8回	インターバル①短2度、長2度、短3度、長3度の実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌⑥秋（音程間隔が広い教材）をうたう。
第9回	ハーモニーの実践をグループで行うまた、保育現場で用いられる季節の歌⑦冬（音程間隔が狭い教材）をうたう。
第10回	インターバル②完全4度、完全5度の実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌⑧冬（音程間隔が広い教材）をうたう。
第11回	うたい方①姿勢、呼吸、発声の実践を行う。また、保育現場で用いられる行事の歌①春をうたう。
第12回	うたい方②発音、響きの実践を行う。また、保育現場で用いられる行事の歌②夏をうたう。
第13回	うたい方③拍子の実践を行う。また、保育現場で用いられる行事の歌③秋をうたう。
第14回	様々な表現方法を学ぶ。また、保育現場で用いられる行事の歌④冬をうたう。
第15回	総合練習を行う。

事前学修	0.5時間	教科書の内容を一読し、不明な点を質問できるようにする。
事後学修	0.5時間	授業内容の理解を深める。
フィードバックの方法	授業内の指導によってフィードバックする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	100%	授業態度や授業に対する意欲、課題や発表の到達度などを総合的に評価する。
補足事項		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
うたうソルフェージュ	木許 隆ほか	圭文社	9784874460931C1037	無
歌のファンタジー	木許 隆	圭文社	978487466064	無
参考資料	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領			